

NEMURO

人物図鑑

ねむろを愛する
素敵な人たち



僕たちの想いを太鼓に込めて

落石潮会 会員

岸本

太治さん
(18)

威勢のよい太鼓の音が響き渡る落石小学校の体育館には、落石潮会のメンバーが一同にそろい、11月7日と8日に総合文化会館で開催される根室市文化祭「邦楽舞踊大会」に向けての練習に汗を流しています。

落石潮会は、青年団を中心に地域に新しい芸能を生み出そうと結成され、平成10年に有志や地域住民からの活動資金と、根室太鼓保存会や市の公民館の指導と協力によって最初の一步を踏み出しました。現在は、中学生と高校生を中心に10歳から42歳までの会員16名で、地域のお祭りやイベントに参加し、受け継がれていくふるさとの響きを伝えていきます。

高校三年生でメンバーの中心となっている岸本太治さんは、太鼓との出会いから6年目を迎えました。「小学校の

授業で、太鼓をたたく機会がありました。潮会の先輩の指導で楽しくできたことで興味になりました。練習では手に豆ができ、体力の消耗も激しく辛いときもありましたが、皆さんに披露するときの緊張感とやり遂げた満足感を忘れられなくて、今日まで続けられたと思います。」と、笑顔の中に指導に当たってくれた先輩への感謝を伝えます。

週2回の練習で、年代を越えた交流からはぐくまれたふるさとへの想いは、岸本さんの進路にも大きな影響を与えたようです。「高校を卒業後は、地元での就職を希望しています。地域を愛する皆さんに温かく見守られて経験したことは、根室のまちに誇りを持つきっかけになりました。これからは、先輩の育成にあたりながら自分自身も成長していきたいと思っています。生まれ育ったまちを僕たちの太鼓で盛り上げていきたいですね。」バチに込める力は、まちを支える若い力を感じさせてくれます。

まだ歴史の浅い落石潮会ですが、郷土芸能を大切に育てる活動は、若い世代の心を動かし、地域を元気にする源にもなっているようです。